学校番号	218

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史 B	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	「高校日本史 B」　（山川出版）						
副教材等	自主作成プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・近世から現代に至るまでの日本の歴史について学習します。
・様々な資料をもとに、当時の人々の思いや判断について考える学習活動など、他の人の立場に立って考える活動を行います。
・授業プリントを主要な教材とし、教科書・図録を活用しながら学習を進めます。
・毎回の授業には教科書・図録・ノート・ファイルを持参してください。

2　学習の到達目標

・日本と世界とのかかわりを理解しながら、日本の歴史の流れや文化的特色などについて認識を深める。
・史資料を活用して課題に取り組むことで、資料活用の技能および歴史的思考力・表現力を養う。
・現在の社会における諸課題について、日本史の学習で得られた知見をふまえて考察することで、グローバル化の進んだ現代の日本に暮らす公民としての資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日本の歴史の発展に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本に暮らす公民としての自覚と資質を養う。	日本の歴史の展開を世界の歴史と関連付けながら課題を見いだし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し日本の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断してその過程や結果を適切に表現している。	日本の歴史の発展に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり考察したりし、その成果を適切に表現している。	日本の歴史の発展についての基本的な事柄を、地理的条件や国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	授業プリント 観察・発表等	授業プリント 定期考査	授業プリント 発表等	確認テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	武家社会の形成と近世社会の形成	・中世社会の成立 鎌倉幕府の誕生 ・武家社会の形成と東アジア 室町幕府の形成 ・ヨーロッパ文化との接触 織豊政権	○ ○	○ ○ ○	○ ○ 	 ○ ○	a:鎌倉文化・室町文化に関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 鎌倉文化・室町文化の特色について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:図や画像から武家社会や近世社会に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 d: 武家社会や近世社会の展開についての基本的な事柄を、地理的条件や国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。	授業での観察 ワークシート 定期考査 確認テスト
2学期	近世社会の形成と展開	・幕末体制の成立 江戸幕府と大名・朝廷 ・近世社会の発達 幕府政治の進展 ・幕藩体制の動揺と庶民文化の発達	 ○ ○	○ ○ ○	○ ○ 	○ ○	a:近世社会の展開に関する関心と課題意識を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:世界各国との交流の特質を見出し、近世社会の形成について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:近世社会の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 d:近世社会の展開を社会や経済、国際情勢と関連付けて理解している。	授業での観察 ワークシート 定期考査 確認テスト

2 学 期	近代日本	・開国から明治維新へ ・立憲政治の形成 ・第一次世界大戦 ・激動する世界と日本	○ ○	○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○	a: 近代国家の展開と社会や文化の変容に対して課題意識・関心を持っている。 b:近代国家の展開を国先環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 近代社会や文化に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 d: 近代社会の展開についての基本的な事柄を、地理的条件や国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。	授業での観察 ワークシート 定期考査 確認テスト
3 学 期	現代	・占領と国内改革 ・国際社会の復帰 ・新しい国際秩序と日本の課題	○ ○ ○	 ○ 	○ ○	○ ○	a: 現代代社会の展開についての基本的な事柄を、地理的条件や国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。 b: 現代国家の展開を国先環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 現代社会や文化に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 d: 現代社会の展開についての基本的な事柄を、地理的条件や国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。	授業での観察 ワークシート 定期考査 確認テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。